



廃棄物削減を目指して分別を徹底するべし



法政大学の 掟

関連するSDGs



2020年度環境目標

市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの一般廃棄物排出量について
2017年度実績値(180.666t)を維持する。

その1 法政大学の分別廃棄物の区分

基本は、「燃やせるゴミ」、「燃やせないゴミ」、「カン・ビン」、「ペットボトル」、「ミックスペーパー」、「ペットボトルキャップ」に分別されます。



3R(Reduce, Reuse, Recycle)が第一ね。
私は買い物にはマイバック持参

黄緑色はリサイクルできる資源ゴミ

その2 ミックスペーパー



紙製の資料、新聞、雑誌、パンフレット、紙コップ、包装紙、メモ用紙等。

汚れていたり、濡れていたり、臭いが強いものは燃やせるゴミに。

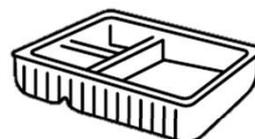


飲料用紙パックは燃やせるゴミ、内側がアルミ付きの場合には燃やせないゴミに



使用済ティッシュペーパーは燃やせるゴミに

その3 弁当容器



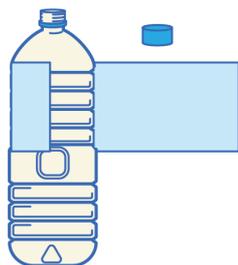
燃やせないゴミ

もったいないから食事は残さず食べよう



割り箸、爪楊枝は燃やせるゴミ、プラスチック袋は燃やせないゴミに

その4 ペットボトル



一手間かけてきちんと分別

ラベルは燃やせないゴミ、本体とキャップは専用ゴミ箱に



その5 カン・ビン



私はマイボトル、マイカップが基本なの。

缶や瓶の本体は「カン・ビン」専用ゴミ箱に



番外編



使用済のマスクは、ビニール袋等に入れて必ず持ち帰ってください。

廃棄物削減及び分別廃棄は、地球温暖化や海洋汚染の防止等の環境保全効果やコスト削減等の経済効果や健康的な生活をもたらすことが期待されます。



法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す拠点」としてSDGs(持続可能な開発目標)について重要課題と関連付けて取り組んでいきます。

2020年9月 法政大学環境センター

TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp